

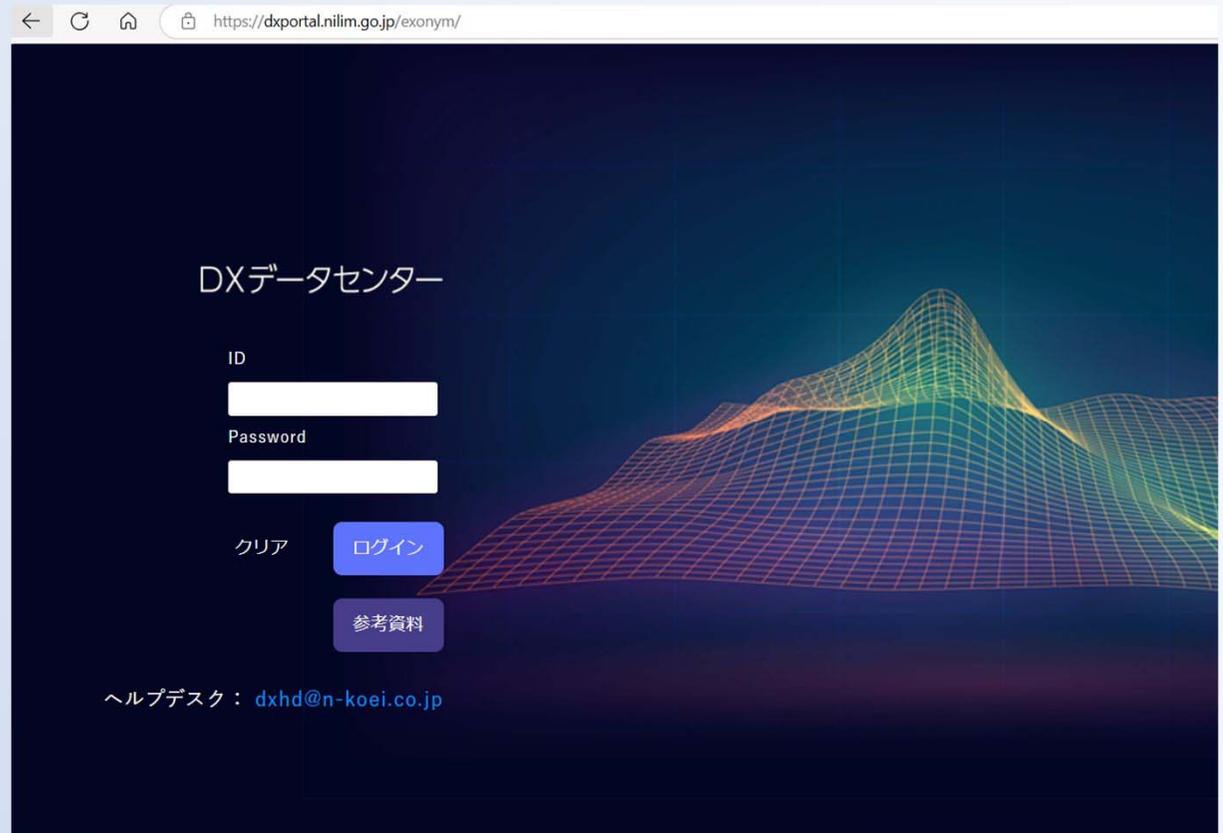
DXデータセンター活用研修

1) DXデータセンターの概要

本eラーニングは、令和6年度時点の情報で作成しています。実際の実務にあたっては最新情報の確認をお願いします。

DXデータセンターの概要

- BIM/CIMで用いる3次元モデル等を保管し、**受発注者が測量・調査・設計・施工・維持管理の事業プロセスや、災害対応等で円滑に共有するための実証研究システム。**
- 利用にあたっては、**発注者からのIDとパスワードの付与が必要**となる。



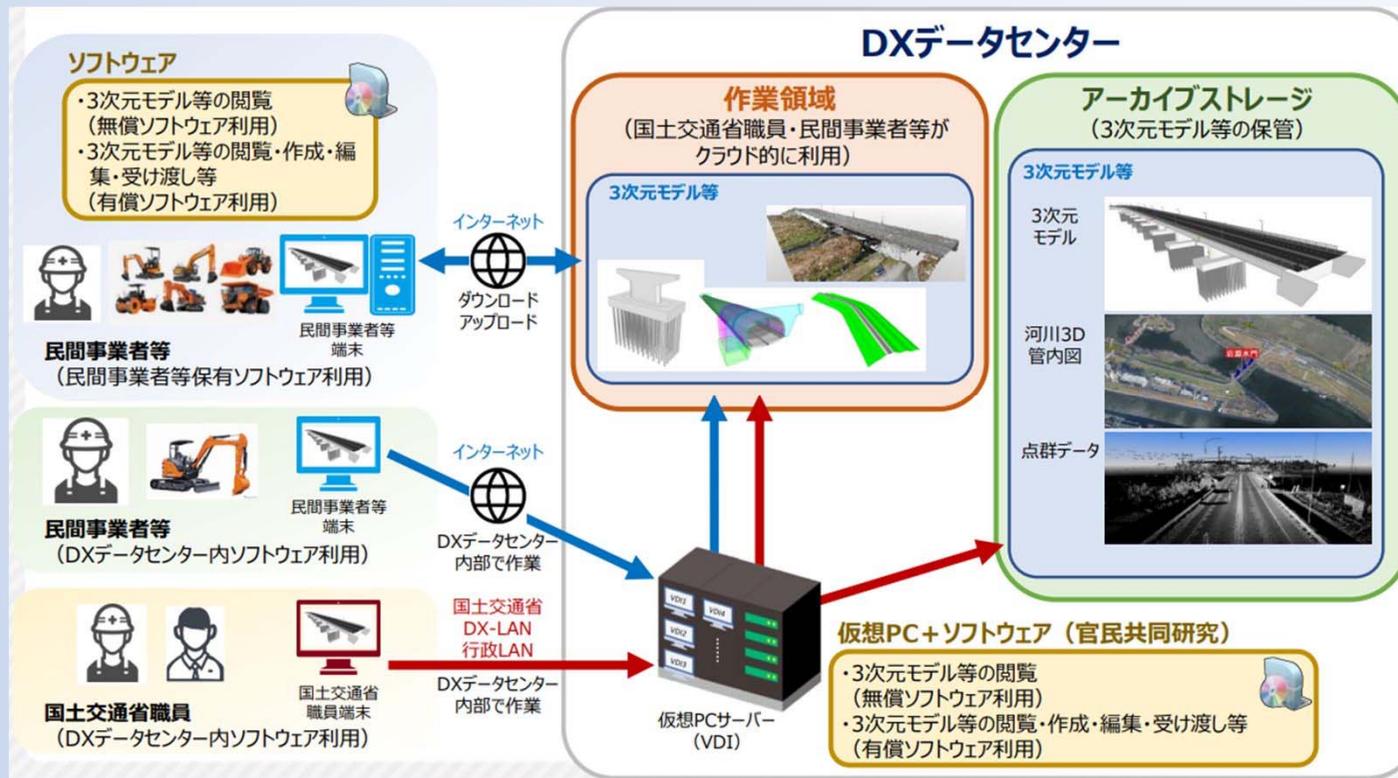
The screenshot shows a web browser window with the URL <https://dxportal.nilim.go.jp/exonym/>. The page title is "DXデータセンター". It features a login form with the following elements:

- Input field for "ID"
- Input field for "Password"
- A "クリア" (Clear) link next to the password field
- A blue "ログイン" (Login) button
- A blue "参考資料" (Reference Material) button

At the bottom of the page, there is a helpdesk contact: ヘルプデスク : dxhd@n-koei.co.jp. The background of the page is a dark blue gradient with a glowing 3D wireframe landscape.

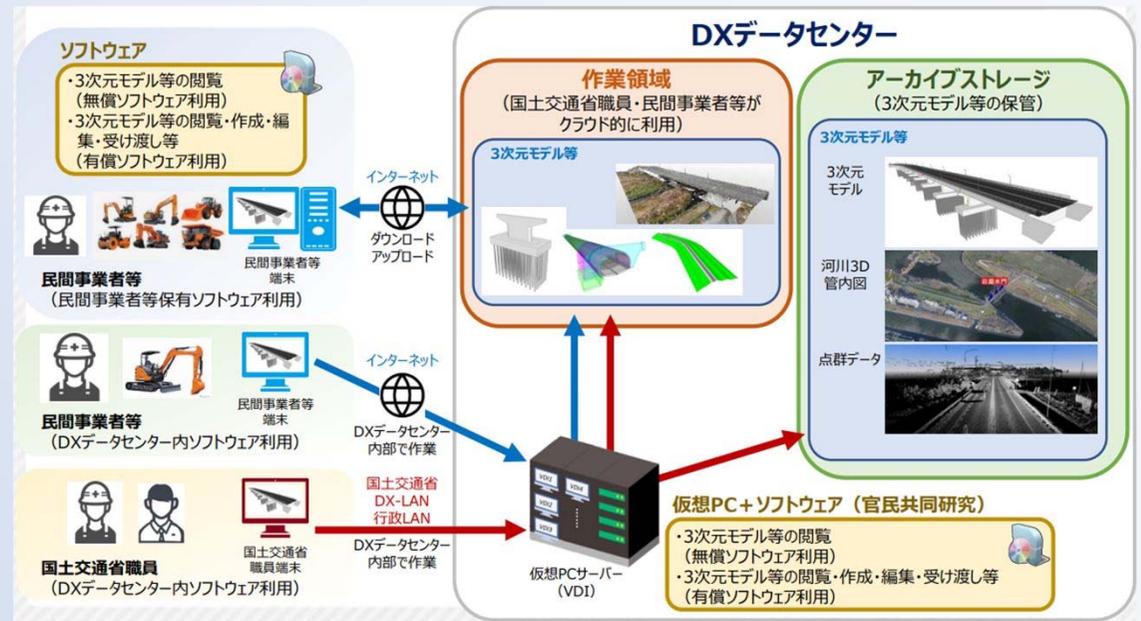
DXデータセンターの概要

- 当面の取り組みとして、3次元モデル等を扱うソフトウェアを搭載することで、受発注者が3次元モデル等の閲覧、作成、編集、受け渡し等をシステム上で行うことを可能とする**官民共同研究**を実施している。



DXデータセンターの役割

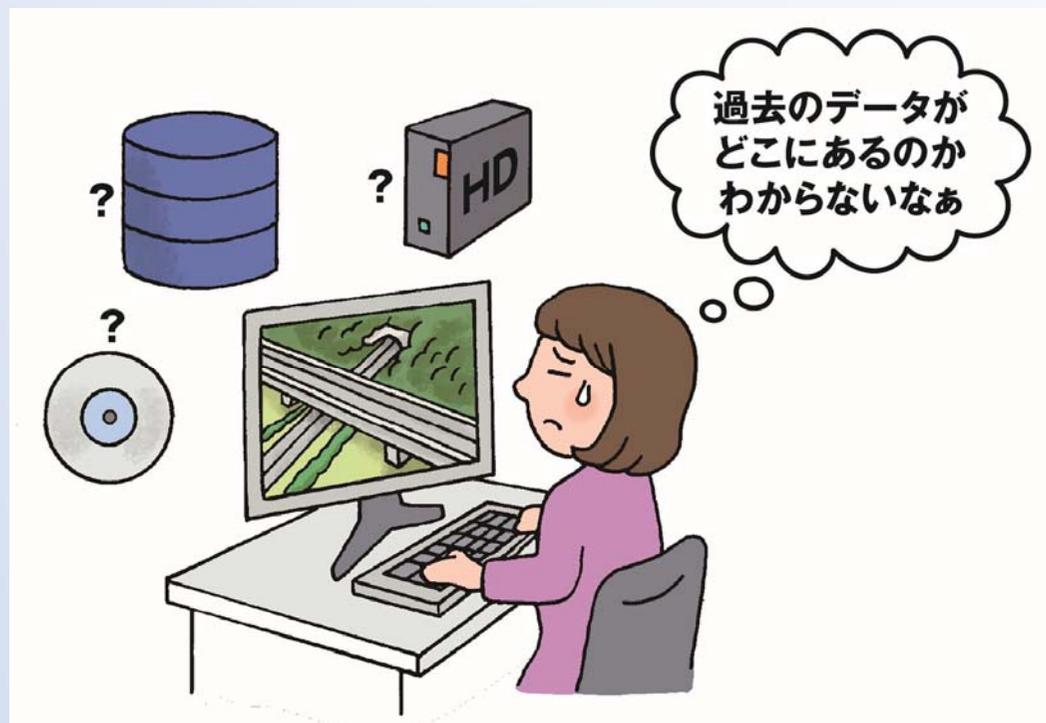
- インフラ分野のDXに関する実証研究システム
- 当面の取り組みとして、中小規模の施工業者等が3次元モデルを活用することを支援するシステムを構築（官民共同研究）



3次元モデルの活用における3つの課題

課題1

データが散逸しており、過去の成果品（3次元モデル）の入手・参照が困難



出典：DXデータセンターの概要2023年10月10日版（国土技術政策総合研究所）

3次元モデルの活用における3つの課題

課題2

中小規模の施工業者にとって、3次元モデルを扱うソフト・端末を調達・使用する負担が大きい（技術・費用）

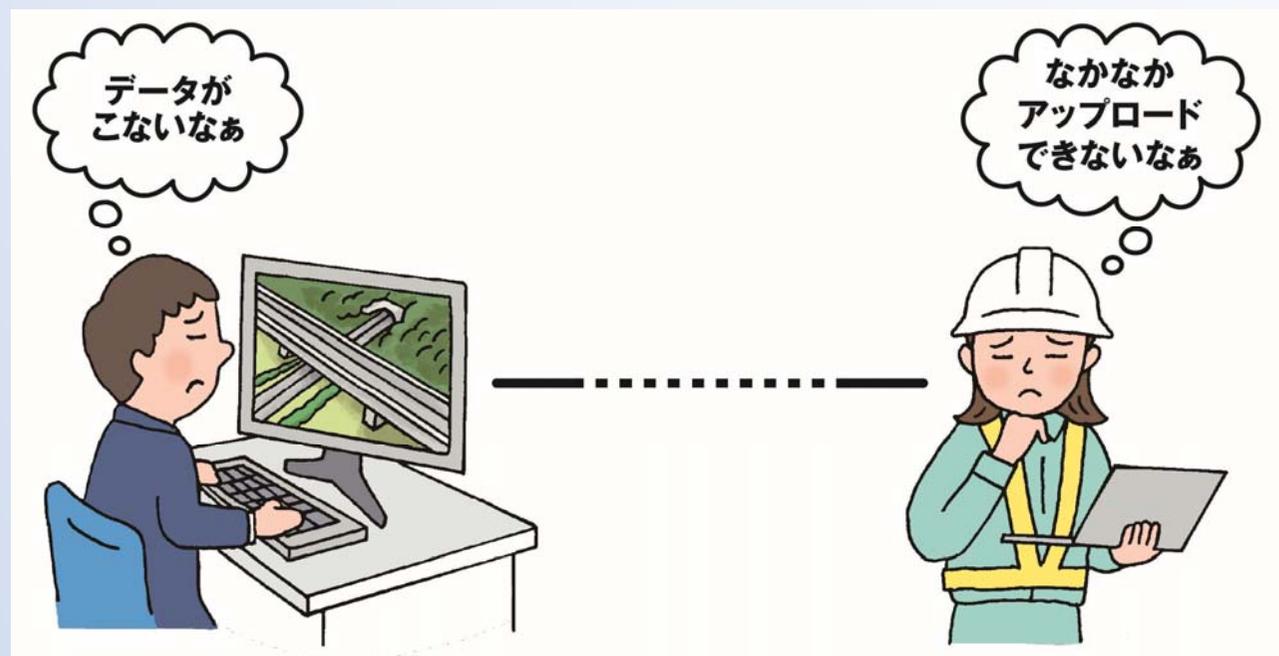


出典：DXデータセンターの概要2023年10月10日版（国土技術政策総合研究所）

3次元モデルの活用における3つの課題

課題3

データのサイズが大きく、インターネット回線でのデータ受け渡しが困難であり、3次元モデルの共有が困難



3次元モデルの活用における3つの課題への対応

課題1

データが散逸しており、過去の成果品（3次元モデル）の入手・参照が困難

課題2

中小規模の施工業者にとって、3次元モデルを扱うソフト・端末を調達・使用する負担が大きい（技術・費用）

課題3

データのサイズが大きく、インターネット回線でのデータ受け渡しが困難であり、3次元モデルの共有が困難

3次元モデルの活用における3つの課題への対応

課題1

データが散逸しており、過去の成果品（3次元モデル）の入手・参照が困難

課題2

中小規模の施工業者にとって、3次元モデルを扱うソフト・端末を調達・使用する負担が大きい（技術・費用）

課題3

データのサイズが大きく、インターネット回線でのデータ受け渡しが困難であり、3次元モデルの共有が困難



① 3次元モデル等の保管

3次元モデルの活用における3つの課題への対応

課題1

データが散逸しており、過去の
成果品（3次元モデル）の入
手・参照が困難



① 3次元モデル
等の保管

課題2

中小規模の施工業者にとって、
3次元モデルを扱うソフト・端
末を調達・使用する負担が大き
い（技術・費用）



② 仮想PCサーバー

課題3

データのサイズが大きく、イン
ターネット回線でのデータ受け
渡しが困難であり、3次元モデ
ルの共有が困難

3次元モデルの活用における3つの課題への対応

課題1

データが散逸しており、過去の成果品（3次元モデル）の入手・参照が困難



① 3次元モデル等の保管

課題2

中小規模の施工業者にとって、3次元モデルを扱うソフト・端末を調達・使用する負担が大きい（技術・費用）



② 仮想PCサーバー
③ 受発注者の作業領域

課題3

データのサイズが大きく、インターネット回線でのデータ受け渡しが困難であり、3次元モデルの共有が困難

3次元モデルの活用における3つの課題への対応

課題1

データが散逸しており、過去の
成果品（3次元モデル）の入
手・参照が困難



① 3次元モデル
等の保管

課題2

中小規模の施工業者にとって、
3次元モデルを扱うソフト・端
末を調達・使用する負担が大き
い（技術・費用）



② 仮想PCサーバー
③ 受発注者の作業領域

課題3

データのサイズが大きく、イン
ターネット回線でのデータ受け
渡しが困難であり、3次元モデ
ルの共有が困難



④ 3次元モデル
を共有するWe
b会議システム

DXデータセンターの機能

課題1

データが散逸しており、過去の
成果品（3次元モデル）の入手・参照が困難



3次元モデル等の保管 アーカイブストレージ

モデルの検索・入手が容易

課題2

中小規模の施工業者にとって、
3次元モデルを扱うソフト・端
末を調達・使用する負担が大き
い（技術・費用）



仮想PCサーバー 有償・無償ソフトウェア

3次元モデルを気軽に扱え、技術構築・普及に寄与

高価なソフト・端末の購入が不要

大容量データのやりとりが容易

課題3

データのサイズが大きく、イン
ターネット回線でのデータ受け
渡しが困難であり、3次元モデ
ルの共有が困難



3次元モデルを共有する Web会議システム

受発注者間で情報共有

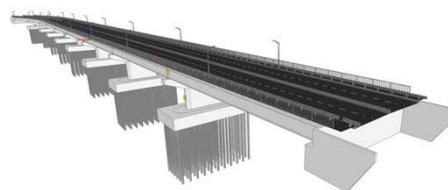
3次元モデル等の保管

課題1

データが散逸しており、過去の成果品（3次元モデル）の入手・参照が困難



3次元モデル



※平成29～令和3年度の約1000件の成果品を補完

河川3D管内



点群データ

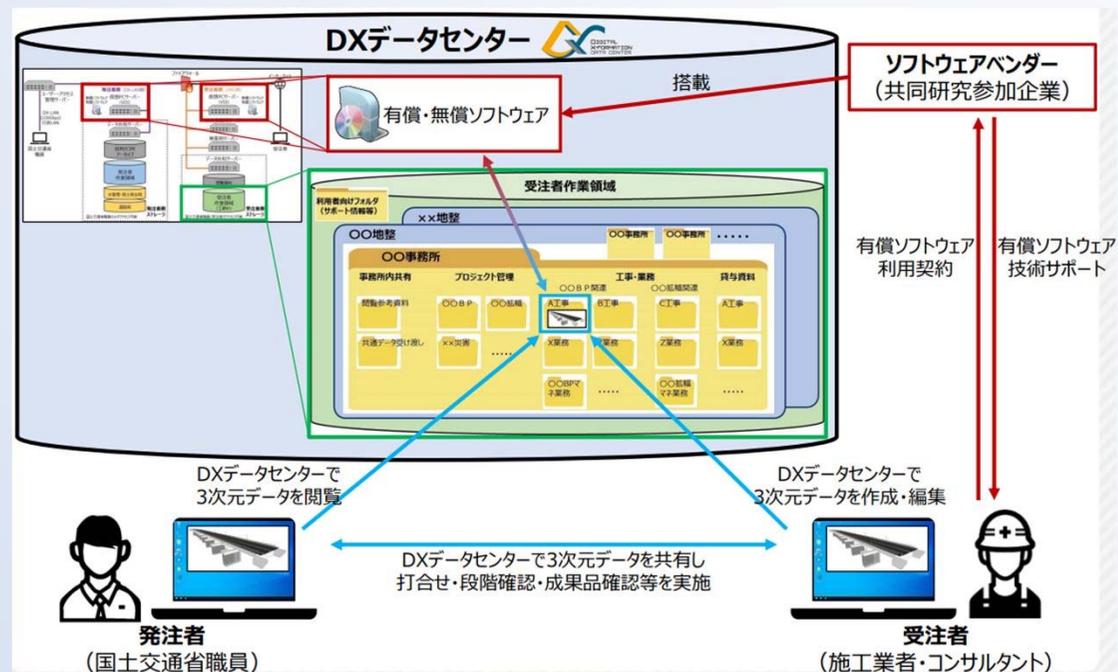


- BIM/CIM活用工事・業務の成果品の3次元モデル、河川3D管内図、点群データ等を保管しています。

仮想PCサーバー，受発注者の作業領域

課題2

中小規模の施工業者にとって、3次元モデルを扱うソフト・端末を調達・使用する負担が大きい（技術・費用）



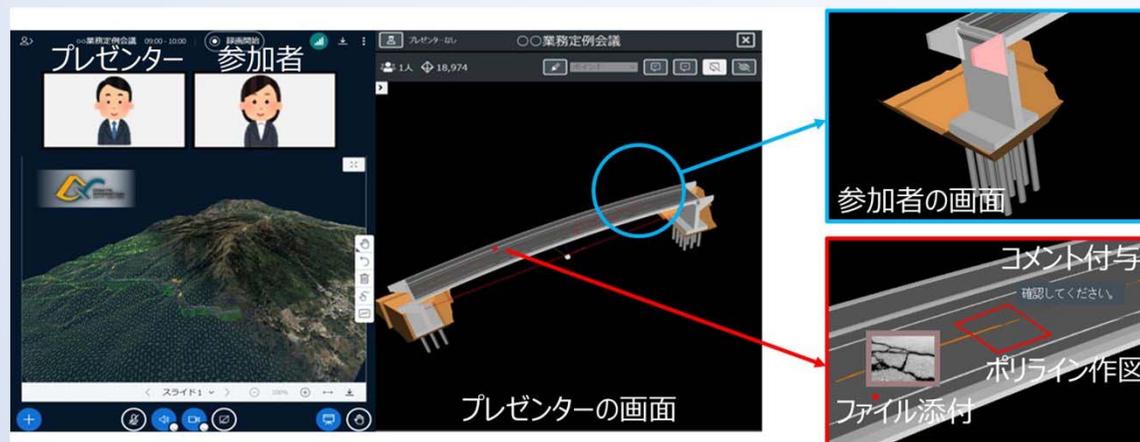
- DXデータセンター内のサーバーにある専用ソフトウェアの利用が可能となる。(有償ソフト有)
- クラウド的に利用し、発注者間、受発注者間、受注者間で3次元データ等を共有できる。

出典：DXデータセンターの概要2023年10月10日版（国土技術政策総合研究所）

3次元モデルを共有するWeb会議システム

課題3

データのサイズが大きく、インターネット回線でのデータ受け渡しが困難であり、3次元モデルの共有が困難



- 3次元モデルを共有するWeb会議を開催できる。
- すべての参加者が3次元モデルの操作、コメント付与、ファイル添付、ポリライン作図等を行うことができる。

BIM/CIM活用工事・業務の成果品の検索

国土技術政策総合研究所
国土交通省

文字列・期間検索
工事/業務名
事務所名
工期開始 工期終了
空間検索
所在地
緯度
経度
キーワード
検索

該当数 173 件

工事・業務名
平成29年度国道298号橋梁耐震補強設計
他業務
発注者名
北首都国道事務所
開始年度・終了年度
2017~2018
詳細表示

No	工事名/業務名	事務所名	年度
1	2019年度新大宮上尾道路橋梁詳細設計 その1業務委託	大宮国道事務所	2019
2	牛久土浦BP橋梁詳細設計(その3)業 務30K18	常総国道事務所	2019
3	平成31年度福岡国道北部地区橋梁予備 設計(2工区)業務	福岡国道事務所	2019
4	仙台河川国道管内橋梁設計業務	仙台河川国道事務所	2019
5	仙台河川国道管内橋梁詳細設計業務	仙台河川国道事務所	2020

表示件数 5
1 2 3 4 5 次のページへ 最後のページへ

- BIM/CIM活用工事・業務の成果品を検索できる。
- 検索条件（工事・業務名、事務所名、工期等）に該当する成果品を地図上のピンと表で示す。

DXデータセンター活用研修

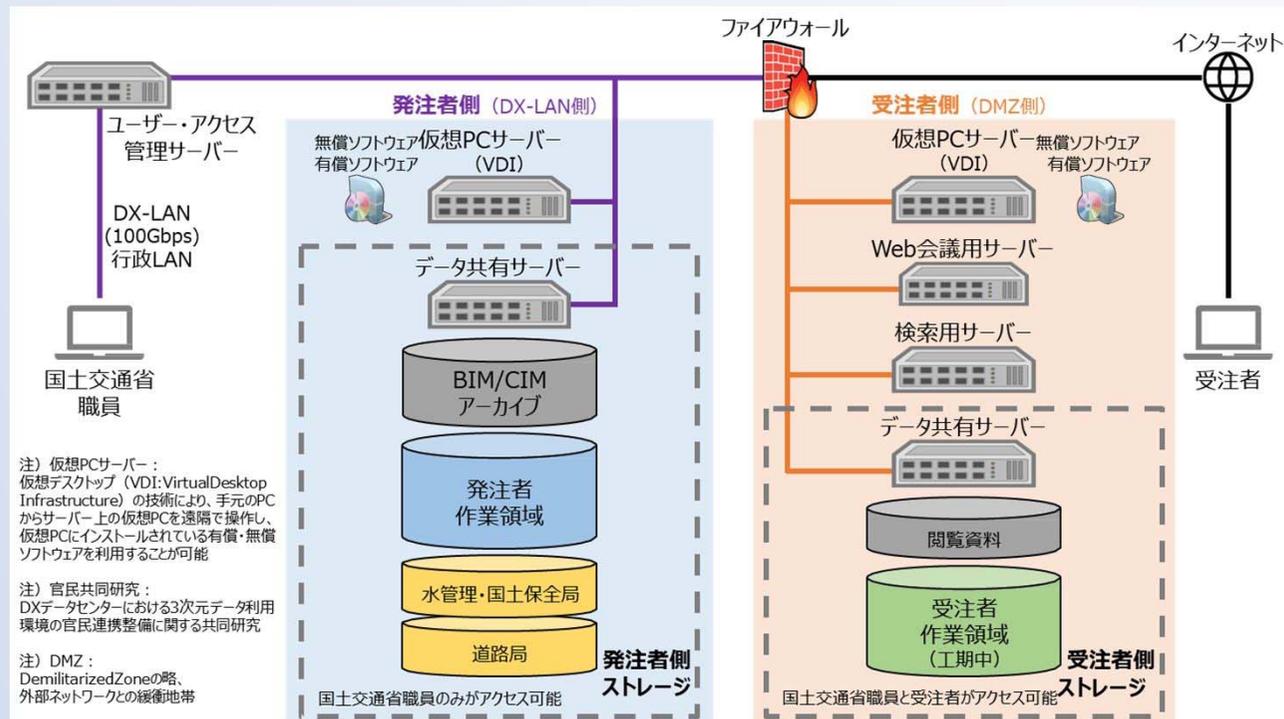
2) DXデータセンターの利用方法と権限

本eラーニングは、令和6年度時点の情報で作成しています。実際の実務にあたっては最新情報の確認をお願いします。

利用対象者及びソフトウェア

利用対象者

- (1) 国土交通省職員
- (2) 民間事業者等



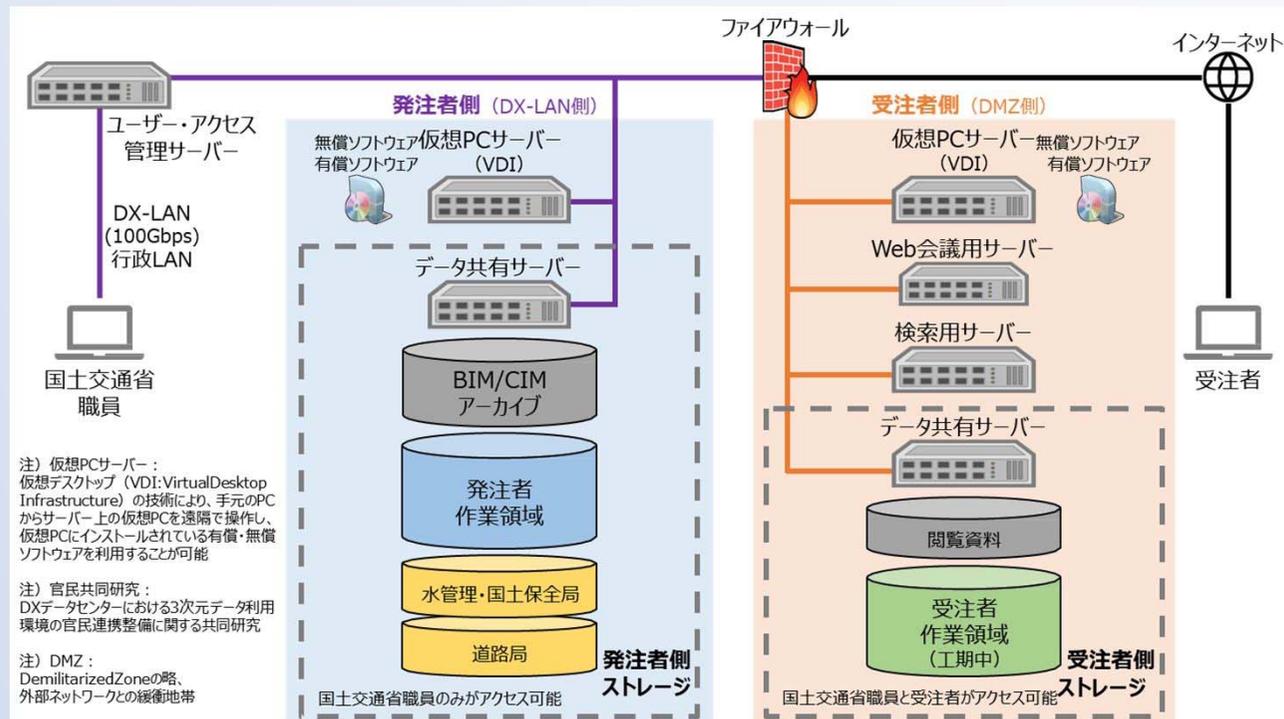
利用対象者及びソフトウェア

利用対象者

- (1) 国土交通省職員
- (2) 民間事業者等

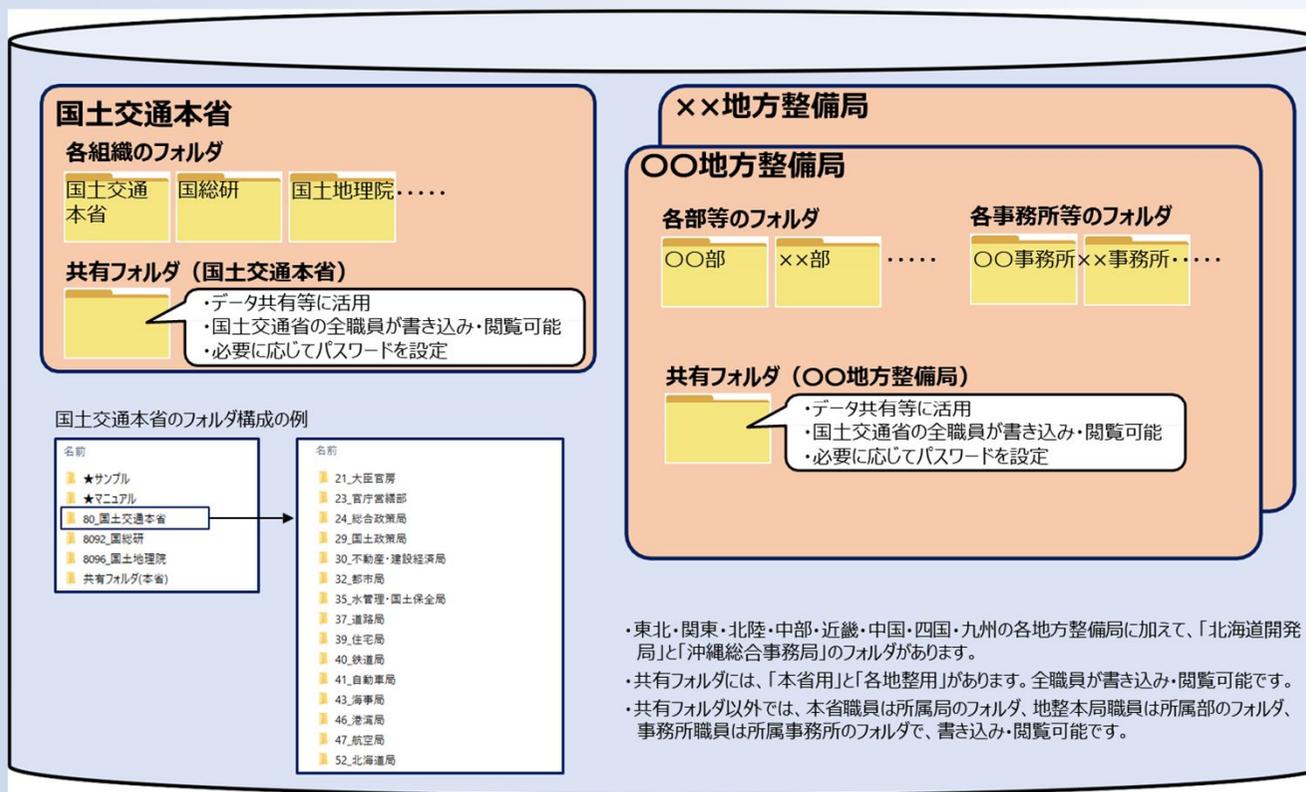
ソフトウェア

- ・ 3次元モデル等の**閲覧**
(無償ソフトウェア利用)
- ・ 3次元モデル等の閲覧, 作成, 編集, 受け渡し等
(有償ソフトウェア利用)



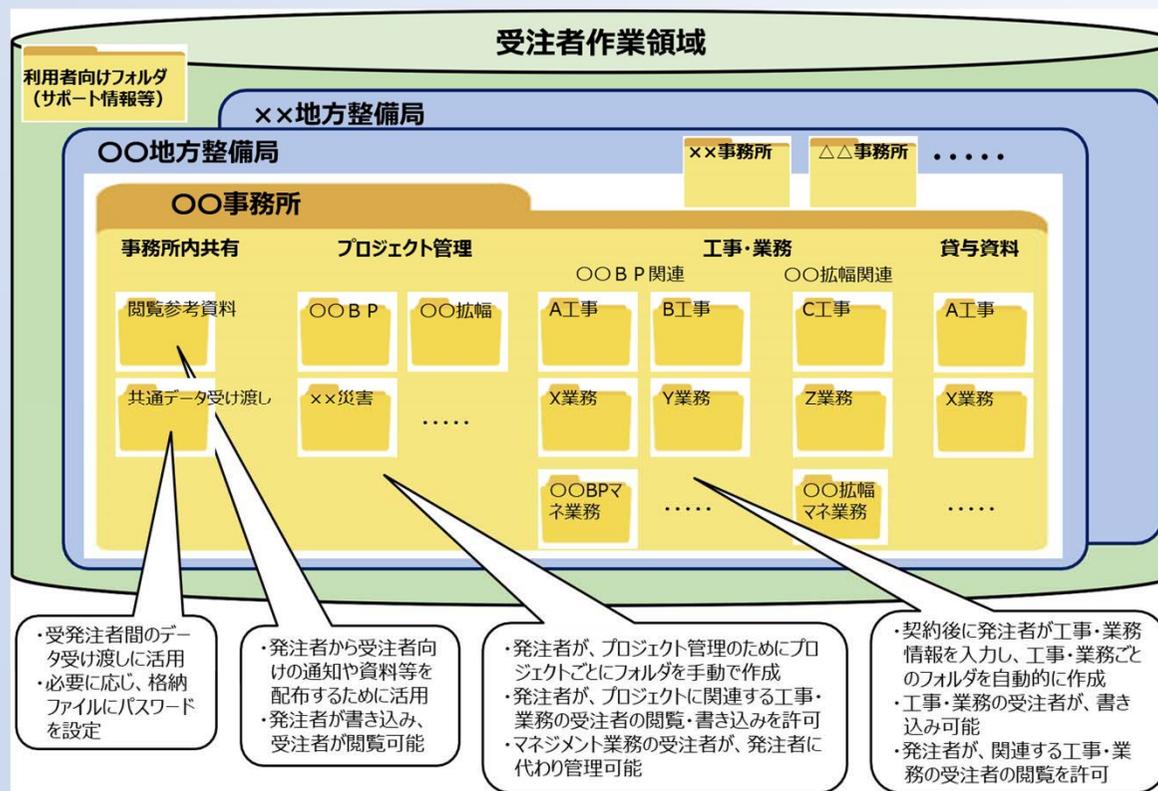
発注者作業領域の利用

- 発注者側ストレージの発注者作業領域では、各組織のフォルダの利用が可能
- 共有フォルダでは、国土交通省の全職員によるデータ共有が可能



受注者作業領域の利用

- 受注者は、自身の受注案件の「工事・業務フォルダ」のみ利用が可能
- 発注者が許可した場合に限り、他の受注者の「工事・業務フォルダ」での読み取りが可能



D Xデータセンター活用研修

3) D Xデータセンターの利用手順

本eラーニングは、令和6年度時点の情報で作成しています。実際の実務にあたっては最新情報の確認をお願いします。

DXデータセンターの利用手順

- 国土交通省職員と受注者がスタートガイドで利用準備を終えた後、様々な利用シーンでDXデータセンターを利用していくために必要となる主な手順を紹介する。
- 不明な点については、DXデータセンターヘルプデスクに、問い合わせる。

DXデータセンター

ID

Password

クリア ログイン

参考資料

ヘルプデスク : dxhd@n-koei.co.jp

(1) 利用者

「国土交通省職員」と「DX データセンターのユーザーID が発行された受注者」からのお問い合わせに対応します。

(2) お問い合わせ内容

DX データセンターの利用方法や不具合等に関するお問い合わせに対応します。

(3) お問い合わせ方法

必要事項を記載のうえ、メールにてお問い合わせください。
お問い合わせの受付は自動対応ではございませんので、返信までにお時間をいただく場合がございます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

<必要事項>

- ・氏名
- ・所属
- ・連絡先（メールアドレス、電話番号）
- ・DX データセンターのユーザーID（受注者からのお問い合わせの場合）
- ・お問い合わせ内容（できるだけ詳細にご記載ください。必要に応じて、お問い合わせ内容に関する画面キャプチャ等のファイルを添付いただけますと幸いです）

<メールアドレス>

dxhd@n-koei.co.jp

(4) 対応時間

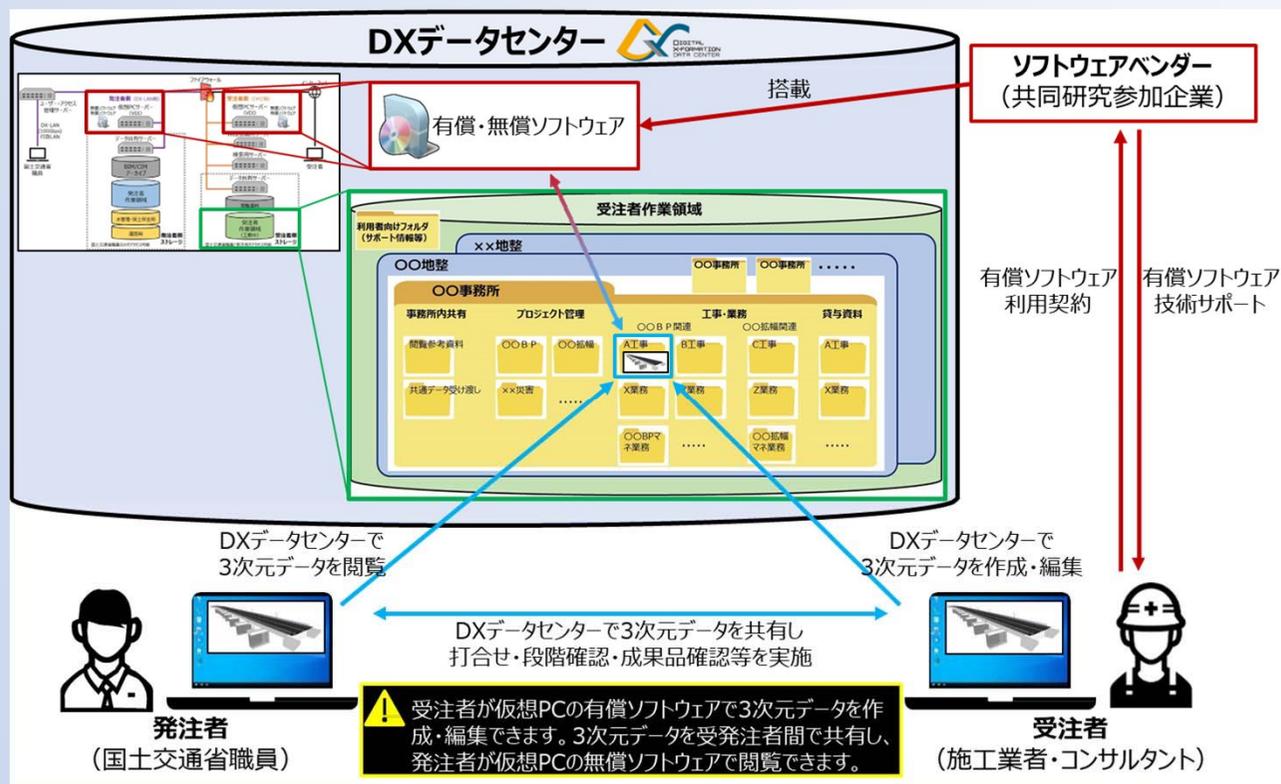
土日および祝日を除く、平日の 9:00～17:00 です。

(5) お問い合わせの前に・・・

「スタートガイド」、「利用ガイド」、「VDI 設定マニュアル」等に、お問い合わせ内容に関する情報が記載されていないか、今一度、ご確認をお願いします。
ガイドやマニュアル、動画等を DX データセンターポータルサイトの「閲覧資料」に掲載していますので、是非、ご活用ください。

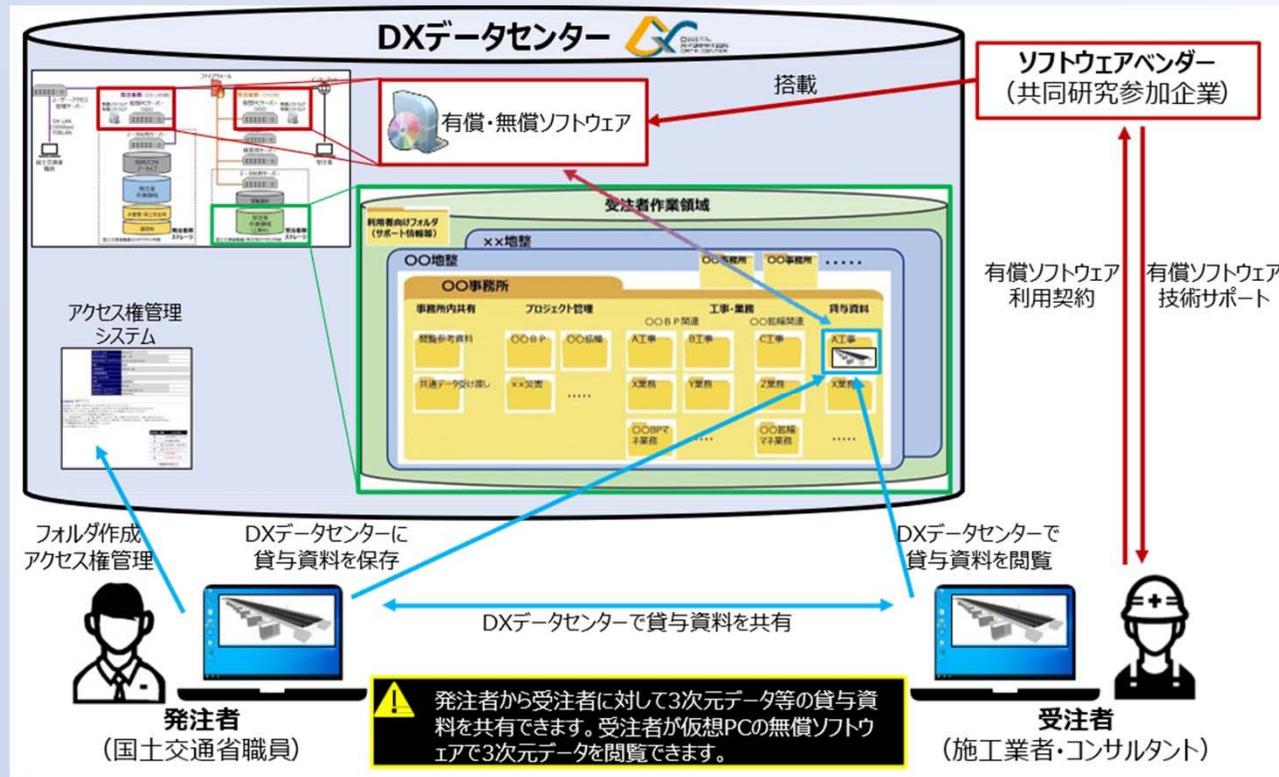
想定する基本的な利用シーン

- 受注者が3次元データを作成・編集し、その3次元データを発注者が閲覧することにより、受発注者間で3次元データを共有する。

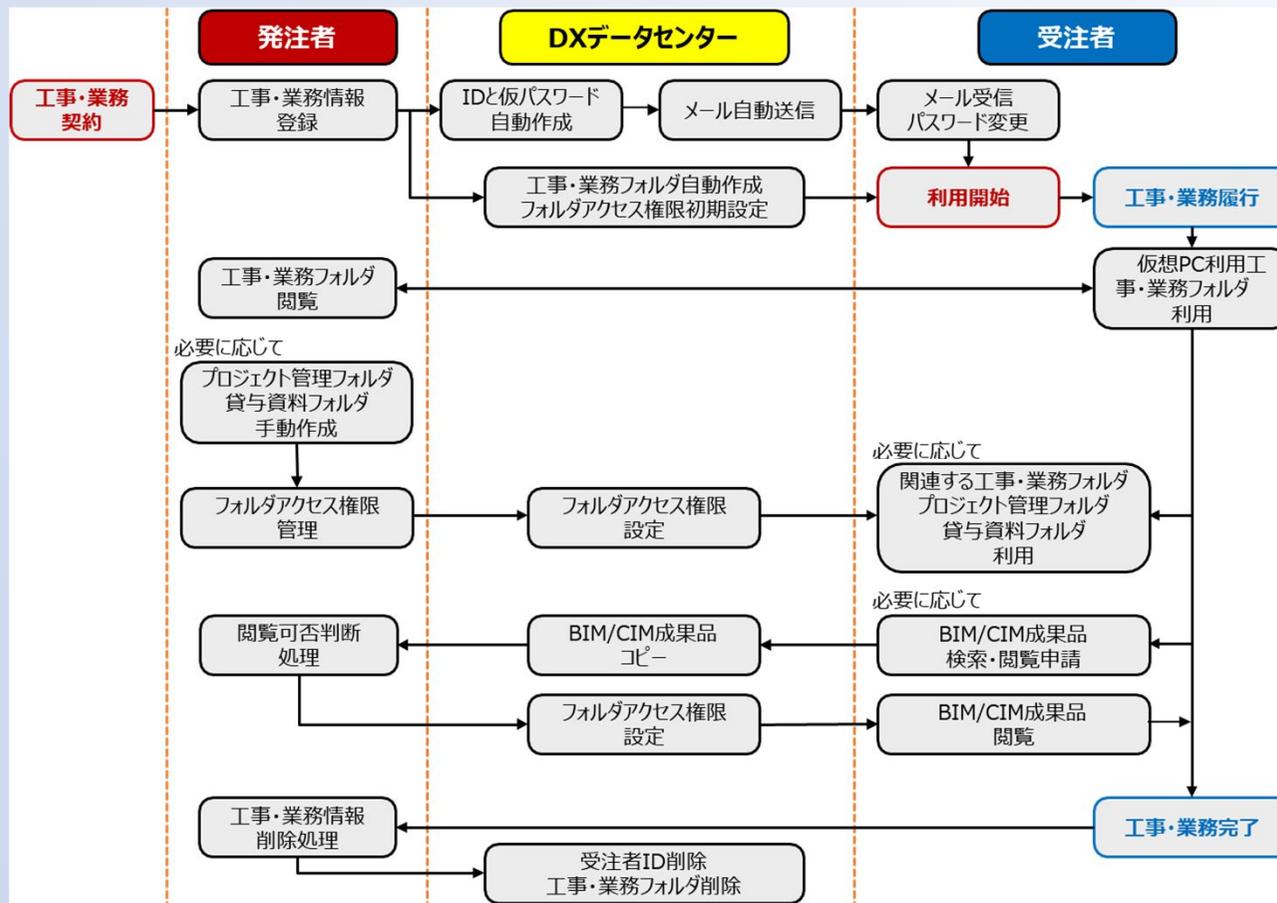


想定する応用的な利用シーン（2）

- 発注者が工事や業務の貸与資料を保存することにより、受注者は貸与資料を閲覧できる。

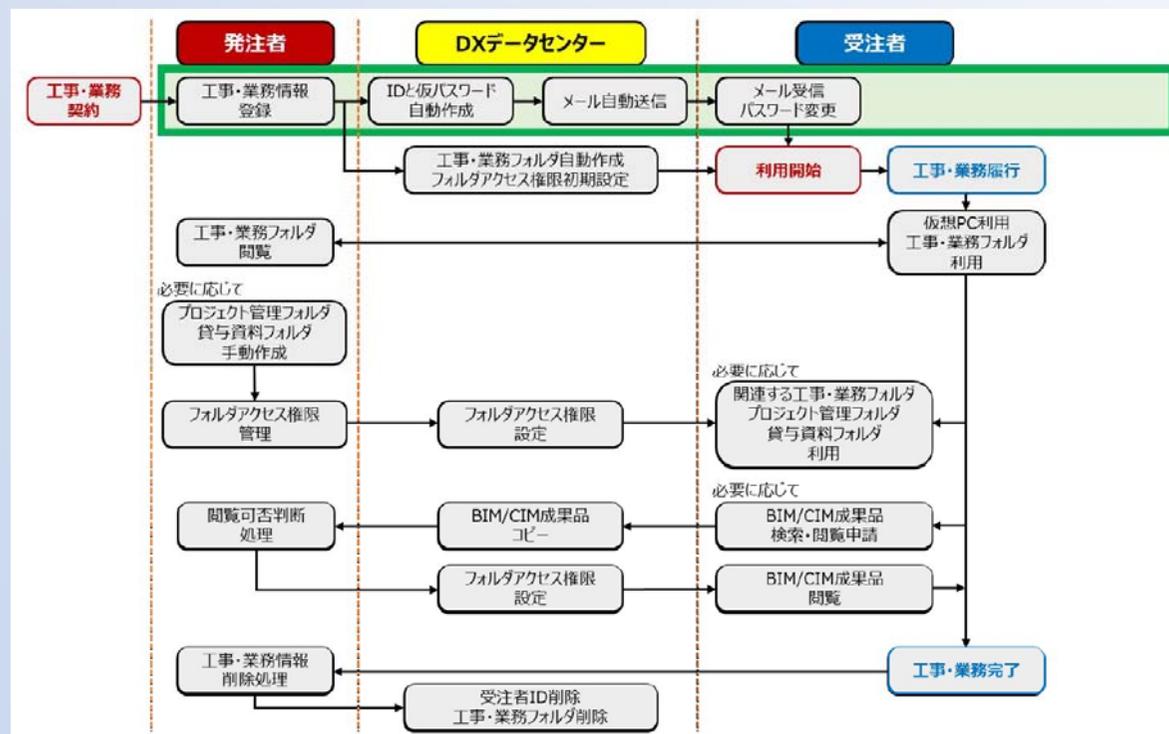


受注者作業領域の利用の流れ



STEP 1 工事・業務情報の入力からパスワードの変更

- 工事・業務の契約後、**工事・業務情報を登録**する。登録後の修正も可能。
- 登録後に**1週間以内**に、DXデータセンターから、受注者へ**1ユーザー分のIDと仮パスワード**が、メールで自動送信される。



工事・業務情報の入力について

- 工事・業務の契約後、「DXデータセンターポータルサイト」にログインし、「アクセス権管理」から工事・業務情報を登録する。登録後の修正も可能。

DXデータセンターのポータルサイトへログイン

手元のPCでMicrosoft Edgeを起動し、ポータルサイトにアクセスします。

IDとパスワードを入力してログインし、「アクセス権管理」を選択します。
(※IDは数字とハイフンのみ (cadvidiは不要)、パスワードは受注者領域専用です)



アクセス権管理システムのメニュー

工事・業務情報管理 『工事・業務情報』の登録・編集を行います。

工事・業務の契約後に、工事・業務業務を登録します。登録後の修正も可能です。

入力画面

¥、/、:、*、?、"、<、>、|、機種依存文字、特殊文字の入力はエラー原因となるため、お控えください。

ログインID【必須】	627210-01	
発注担当者名【必須】		発注担当者がわかるように担当者の名前を入力してください。
発注担当者メールアドレス【必須】		発注担当者のメールアドレスを入力してください。受注者へのメール送信時に送信者のメールアドレスとして使用されます。
年度【必須】	2022	YYYY形式(西暦)で発注年度を入力してください。初期値は本年度です。
工事業務名【必須】		工事・業務の件名を入力してください。
工事業務種別【必須】	工事	工事・業務の種別を選択してください。
作成フォルダ名		【推奨】空白のままとしてください。空白の場合、『年度下2桁』『工事業務種別』『工事業務名』をフォルダ名とします。特別なフォルダ名とする必要がある場合に限り、フォルダ名を入力してください。
工期【必須】		工期の終了日をカレンダーで選択するか、YYYY/MM/DD形式で入力してください。
受注者名【必須】		受注者名を入力してください。
受注者メールアドレス【必須】		受注者のメールアドレスを入力してください。
受注者メールアドレス		DXデータセンターから受注者へメールを送信した最終日が表示されます。

入力後、発注担当者と受注者にIDと仮パスワードを記載した自動配信メールを送信します。

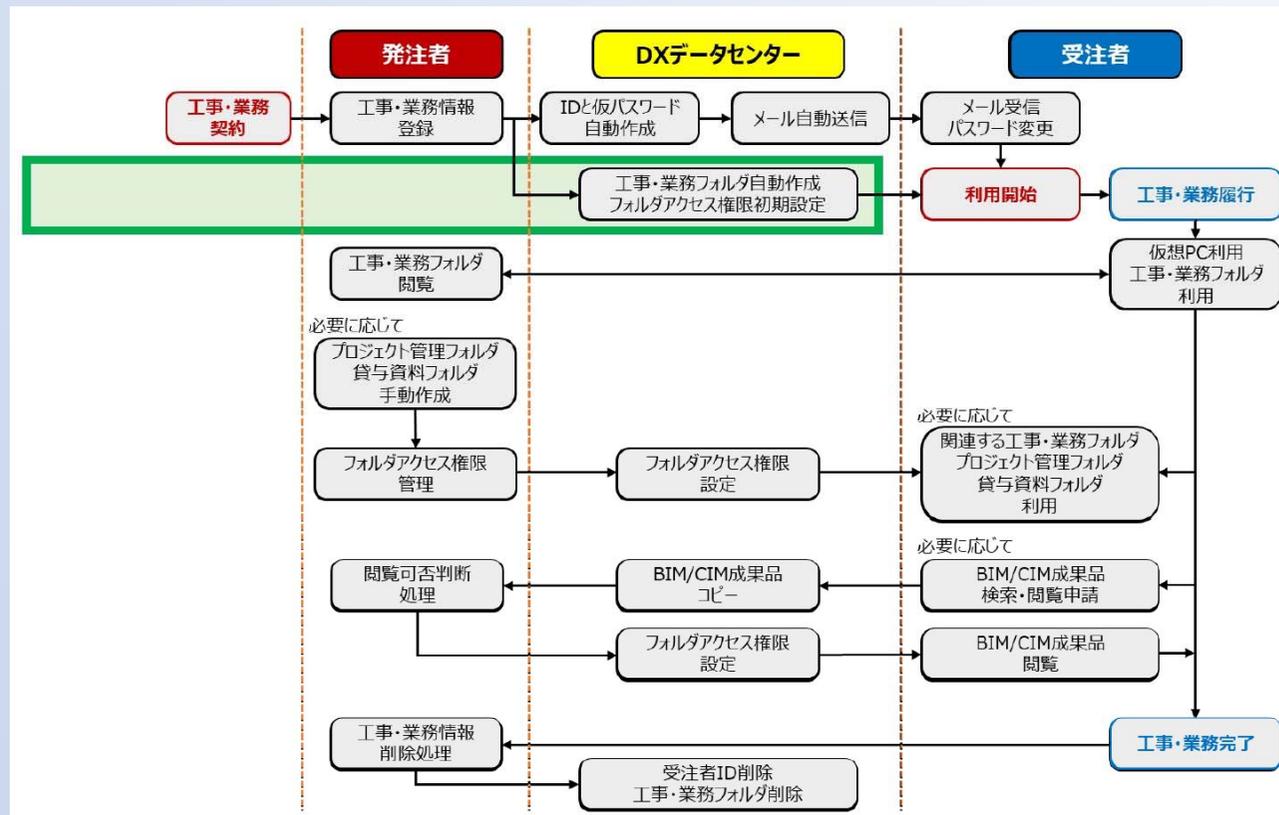
①について：工事・業務の事務所の担当者の情報の入力をお願いします。

②について：フォルダ名が複雑になると工事・業務フォルダを見つけにくくなるため、空白とすることを推奨します。

③について：受注者名とメールアドレスはID・仮パスワードの送信に使用されるため、正確に入力をお願いします。

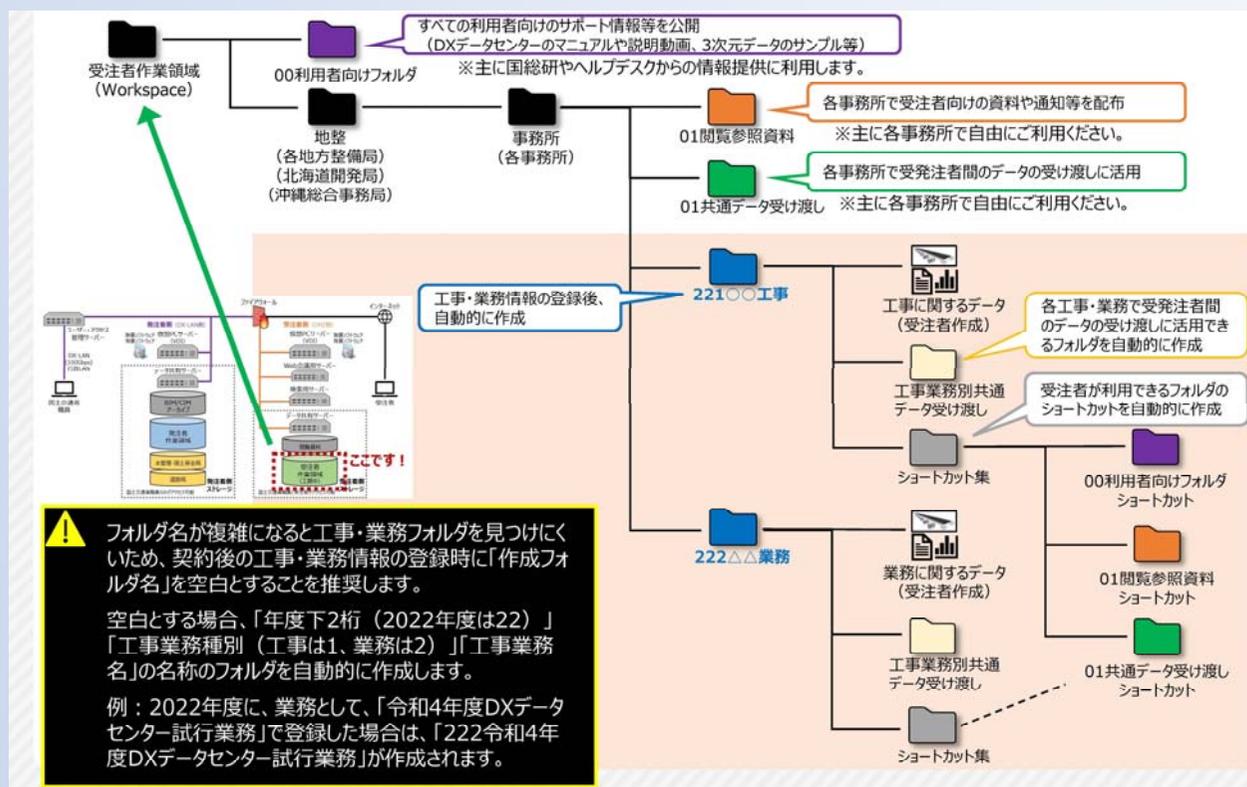
STEP 2 工事・業務フォルダ自動作成とアクセス権限初期設定

- 登録後は、工事・業務ごとに「工事・業務フォルダ」が自動的に作成される。
- 利用可能なフォルダのアクセス権限も自動的に設定される。



工事・業務フォルダの自動作成について

- 発注者が工事・業務情報を登録した後、受注者のID・仮パスワードを記載した自動配信メールの送信と同時に、「工事・業務フォルダ」と「ショートカット集」が自動的に作成される。

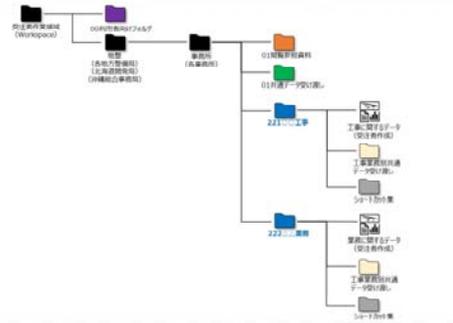


フォルダアクセス権限の初期設定

- 「工事・業務フォルダ」の作成と同時に、受注者が利用できるフォルダへのアクセス権限（読み取り／変更）の初期設定が自動的に行われる。

アクセス権限の初期設定

フォルダ	アクセス権限 注1)			
	発注者 注2)		受注者	
	事務所	事務所以外	221〇〇工事 受注者	222△△業務 受注者
00利用者向けフォルダ	工事業務別共通データ受け渡し	変更	読み取り	読み取り
01閲覧参照資料		なし		
01共通データ受け渡し			変更	変更
221〇〇工事	読み取り	なし	変更	なし 注3)
-工事業務別共通データ受け渡し	変更	なし	変更	なし
-ショートカット集	なし 注4)	なし 注4)	読み取り	なし
222△△業務	読み取り	なし	なし 注3)	変更
-工事業務別共通データ受け渡し	変更	なし	なし	変更
-ショートカット集	なし 注4)	なし 注4)	なし	読み取り



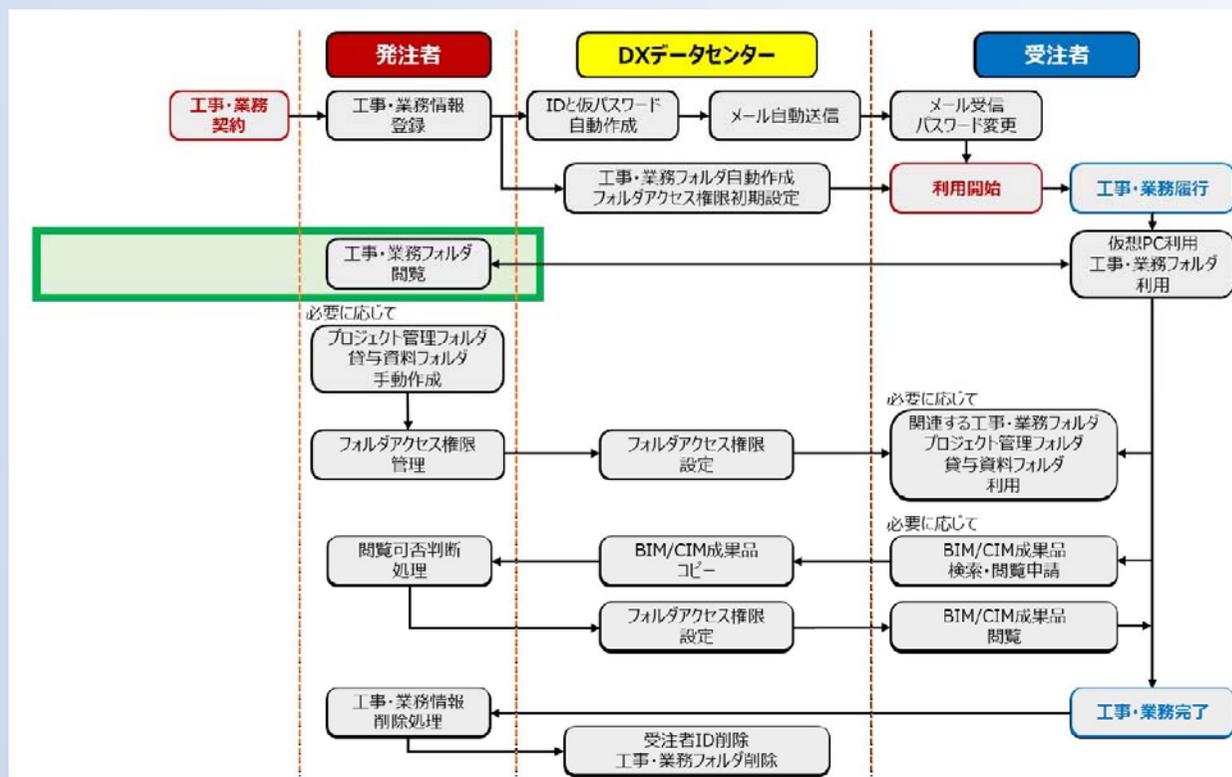
- 注1) **読み取り**：フォルダ内のデータの閲覧が可能
変更：フォルダ内のデータの閲覧に加えて、データの作成や変更が可能
- 注2) **事務所**：工事・業務を発注した事務所のすべての職員
事務所以外：工事・業務を発注した事務所以外の職員（本省・地整・他事務所等）
- 注3) 発注者が必要に応じて追加的に許可した場合に限り、「読み取り」が可能
- 注4) 発注者からはショートカット集の利用は不可能

! 発注者は、自身が所属する事務所の発注案件の「工事・業務フォルダ」での読み取りが可能です。他の事務所の発注案件の「工事・業務フォルダ」での読み取りは不可能です。

受注者は、自身の受注案件の「工事・業務フォルダ」での変更が可能です。ただし、発注者が必要に応じて追加的に許可した場合に限り、他の受注者の「工事・業務フォルダ」での読み取りが可能になります。

STEP 3 工事・業務フォルダの閲覧

- 発注者は、**所属する事務所**の各工事・業務フォルダに保存されているファイルの閲覧が可能。
- 専用ソフトウェアがなくても**仮想PC**を利用し、受注者が作成した**3次元データ**を閲覧できる。

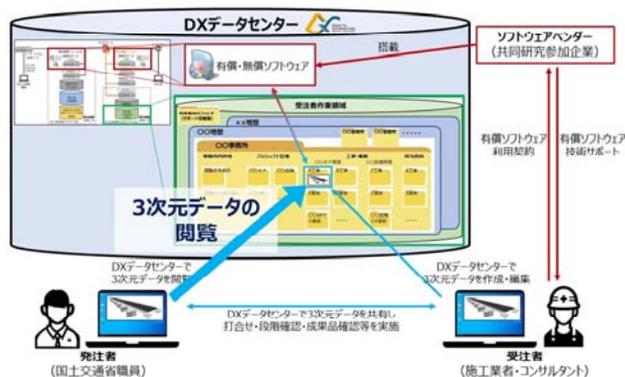


所属する事務所の「工事・業務フォルダ」閲覧のためのアクセス方法について

- ① 3次元データ以外のファイルは、エクスプローラー経由でアクセスすることで閲覧可能。
- ② 3次元データは、仮想PC経由で閲覧専用のソフトウェアを利用することで閲覧可能。ただし、事務所PCに閲覧用のソフトウェアがある場合は、①の方法で閲覧可能

工事・業務フォルダの利用目的と方法

利用目的	方法
工事・業務フォルダのファイルの閲覧 (※仮想PCのソフトウェアを利用しない場合)	<ul style="list-style-type: none"> • 手元のPCのエクスプローラー経由で「工事・業務フォルダ」を開き、受注者が保存したファイルを閲覧 (※手元の高性能PCとソフトウェアを利用し、DXデータセンターの仮想PCを利用する必要がない場合には、仮想PCにログインせず、手元の高性能PCのエクスプローラー経由で「工事・業務フォルダ」を開き、3次元データを閲覧できます)
工事・業務フォルダの3次元データ等の閲覧 (※仮想PCのソフトウェアを利用する場合)	<ul style="list-style-type: none"> • 仮想PCにログインし、「工事・業務フォルダ」を開き、受注者が保存した3次元データ等を閲覧



! 発注者が「工事・業務フォルダ」にアクセスする場合、受注者とは異なり、手元のPCのエクスプローラー経由でもアクセスできます。

ただし、発注者は「工事・業務フォルダ」のファイルの閲覧のみできるため（書き込みはできないため）、ファイルを編集する場合は、発注者作業領域や手元のPCにファイルをコピーして編集する必要があります。

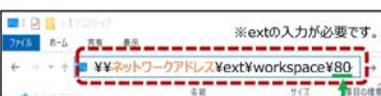
発注者がアクセスできる工事・業務フォルダは、所属先の事務所の発注案件の工事・業務のもののみです（他事務所の発注案件にはアクセスできません）。

アクセス方法その1：PCのエクスプローラー経由でアクセスしデータを閲覧

- 3次元データ以外のファイルは、手元のPCのエクスプローラー経由でDXデータセンターの「工事・業務フォルダ」を開き、受注者が保存したファイルを閲覧可能。

エクスプローラーを起動し アドレスを入力

手元のPCでエクスプローラーを起動する
受注者作業領域のアドレスを入力する

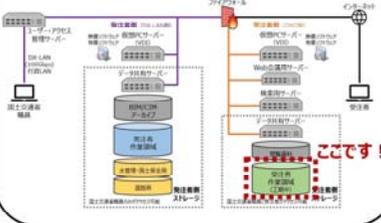


※extの入力が必要です。

ネットワークアドレスには、
スタートガイド（国土交通省職員用）
16ページ右表の「受注者作業領域」のものを入力する

組織フォルダ番号

80 国土交通本省、 国土技術政策総合 研究所、 国土地理院	84 北陸地方整備局
81 北海道開発局	85 中部地方整備局
82 東北地方整備局	86 近畿地方整備局
83 関東地方整備局	87 中国地方整備局
	88 四国地方整備局
	89 九州地方整備局
	90 沖縄総合事務局



ID・パスワードの入力

ID・パスワード（受注者領域専用）を入力する



次に接続するための資格情報を入力してください

dxac¥8092370-48

ドメイン: ※IDが8092370-48の場合の入力例です。

資格情報を記憶する

その他

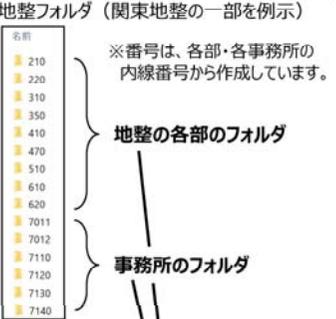
OK キャンセル

【IDの入力時に、ご注意ください】
「dxac¥」をIDの前に入力します。

例) ID: dxac¥ ID（※cadvdi¥ではありません）
パスワード: パスワード（受注者領域専用）

工事・業務フォルダに移動し ファイルを閲覧

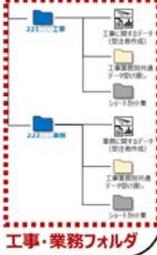
地整フォルダ（関東地整の一部を例示）



※番号は、各部・各事務所の
内線番号から作成しています。

地整の各部のフォルダ

事務所のフォルダ



工事・業務フォルダ

⚠ 手元のPCのエクスプローラー経由で受注者作業領域にアクセスできない場合は、仮想PC経由をお試しください（次ページ参照）。

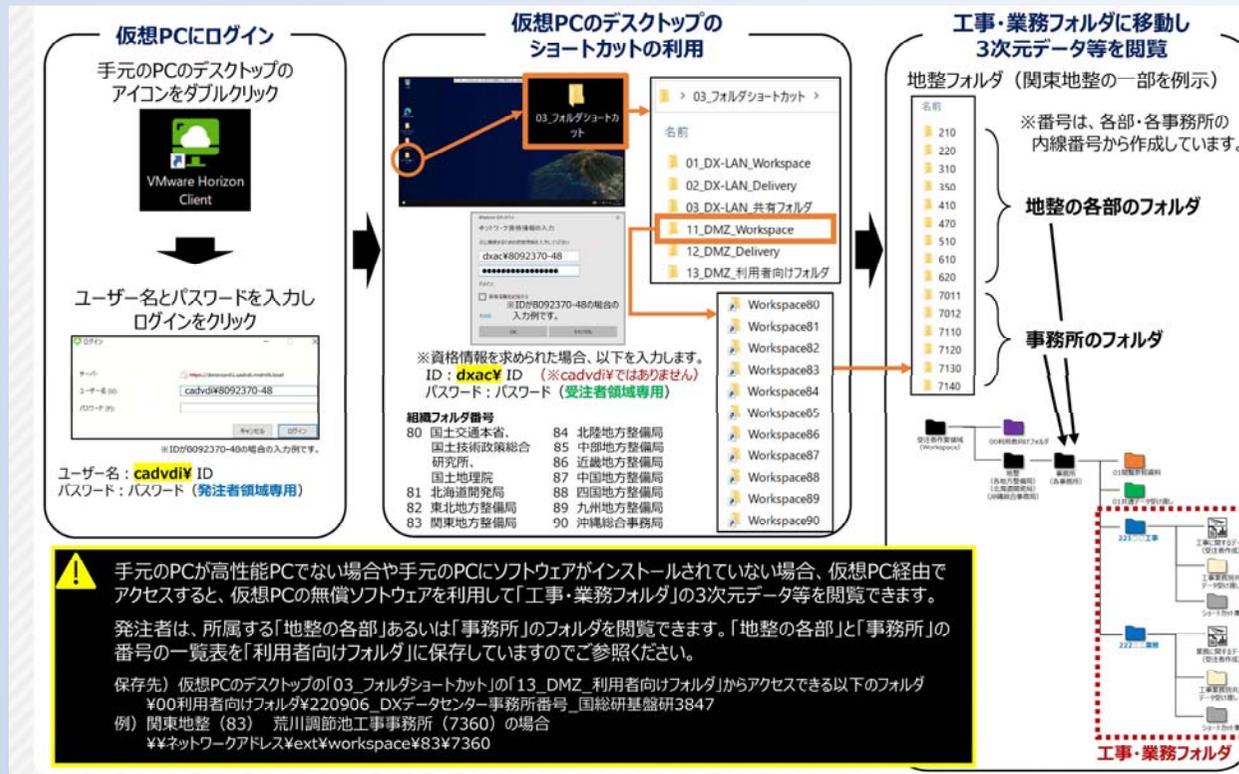
発注者は、所属する「地整の各部」あるいは「事務所」のフォルダを閲覧できます。「地整の各部」と「事務所」の番号の一覧表を「利用者向けフォルダ」に保存していますのでご参照ください。

保存先) ¥¥ネットワークアドレス¥ext¥workspace¥00利用者向けフォルダ¥220906_DXデータセンター事務所番号_国総研基盤研3847

例) 関東地整 (83) 荒川調節池工事事務所 (7360) の場合
¥¥ネットワークアドレス¥ext¥workspace¥83¥7360

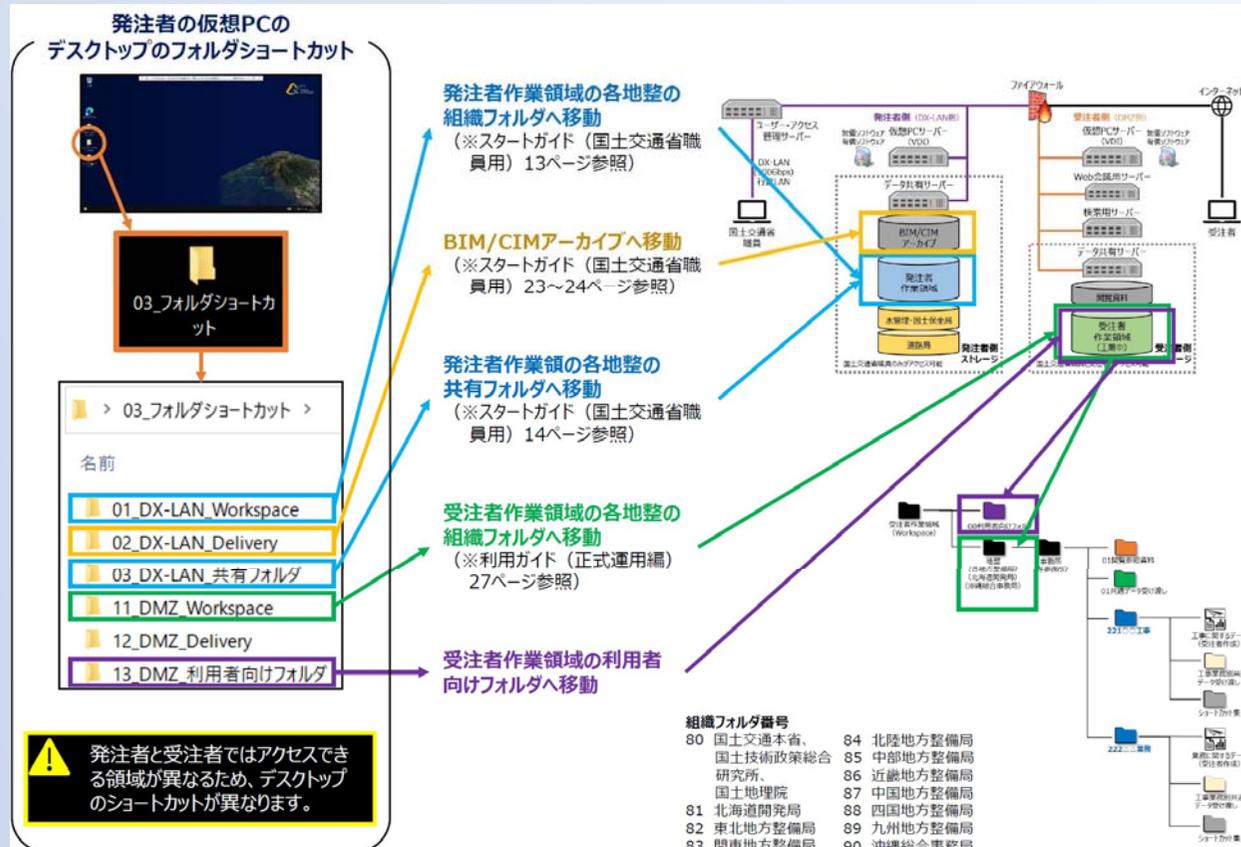
アクセス方法その2：仮想PC経由（閲覧用の専用ソフトウェアが必要な場合）

- 3次元データのように**閲覧時に専用ソフトウェアが必要となるデータ**は、**仮想PCにログイン**後、「**工事・業務フォルダ**」にアクセスし、受注者が保存したファイルを閲覧できる。



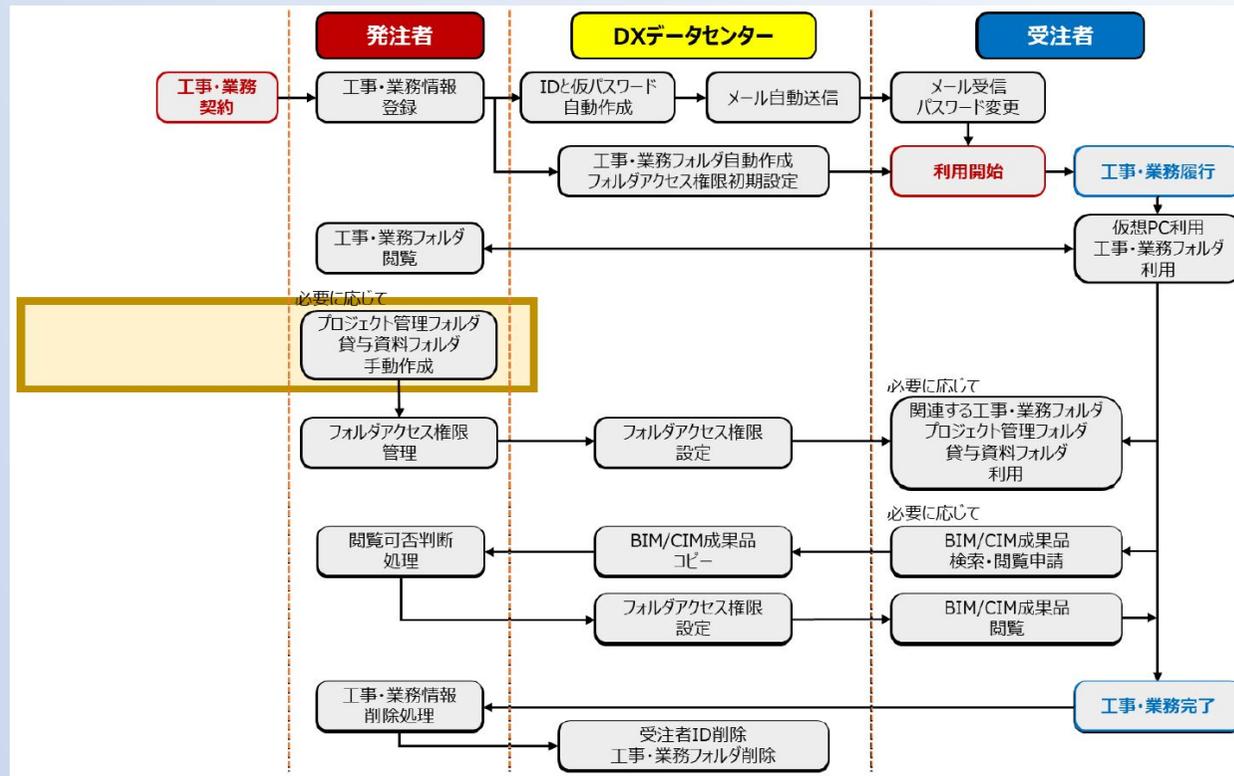
【参考】仮想PCのデスクトップのショートカット

- 仮想PCへのアクセス用にデスクトップへショートカットつくると利用がスムーズになる。



STEP 4 プロジェクト管理・貸与資料フォルダの作成

- 受注者との情報共有を行うために、プロジェクト管理フォルダや貸与資料フォルダを手動で作成することが可能。



プロジェクト管理・貸与資料フォルダの位置づけ

- 関係者と情報共有を行うためのフォルダである。各フォルダの位置付けを以下に示す。

【プロジェクト管理フォルダ】

- 発注者と複数の受注者の間、あるいは、複数の受注者の間で、情報共有を行うためのフォルダ
- 例えば、受注者が3次元データを作成・編集し、発注者あるいは複数の受注者と3次元データを共有して閲覧することにより、関係者間での情報共有を行う。

【貸与資料フォルダ】

- 発注者が受注者への貸与資料等を保存し、受発注者間での情報共有を行うためのフォルダ
- 例えば、発注者が3次元データ等の貸与資料等を保存し、受注者と貸与資料等を共有して閲覧することにより、受発注者間での情報共有を行う。

プロジェクト管理・貸与資料フォルダの作成

- これらのフォルダは、手元のPCのエクスプローラー経由、あるいは、仮想PC経由で受注者作業領域の事務所フォルダに移動し、**事務所フォルダの内部**に、プロジェクト管理や貸与資料のフォルダを**手動で作成可能**。

事務所フォルダの内部にフォルダを手動で新規作成
受注者作業領域の事務所フォルダに移動
(26～27ページ参照)
フォルダ内で右クリック、新規作成、フォルダを選択

右クリック

「工事・業務フォルダ」以外のフォルダは自動作成されないため、発注者が手動で新規作成する必要があります。
事務所内に作成したフォルダはDXデータセンターのシステムで自動認識され、受注者のアクセス権を設定できます。

受注者作業領域 (Workspace)

00利用者向けフォルダ

地整 (各地方整備局 (北海道開発局 (沖縄総合事務局)))

事務所 (各事務所)

01閲覧参照資料

01共通データ受け渡し

101〇〇バイパスプロジェクト管理

102〇〇拡幅プロジェクト管理

103××災害対応

221〇〇工事

221〇〇工事貸与資料

222△△業務

222△△業務貸与資料

221〇〇工事

221〇〇工事貸与資料

222△△業務

222△△業務貸与資料

フォルダを簡単に認識できるように命名ルールに沿ったフォルダ名称を設定

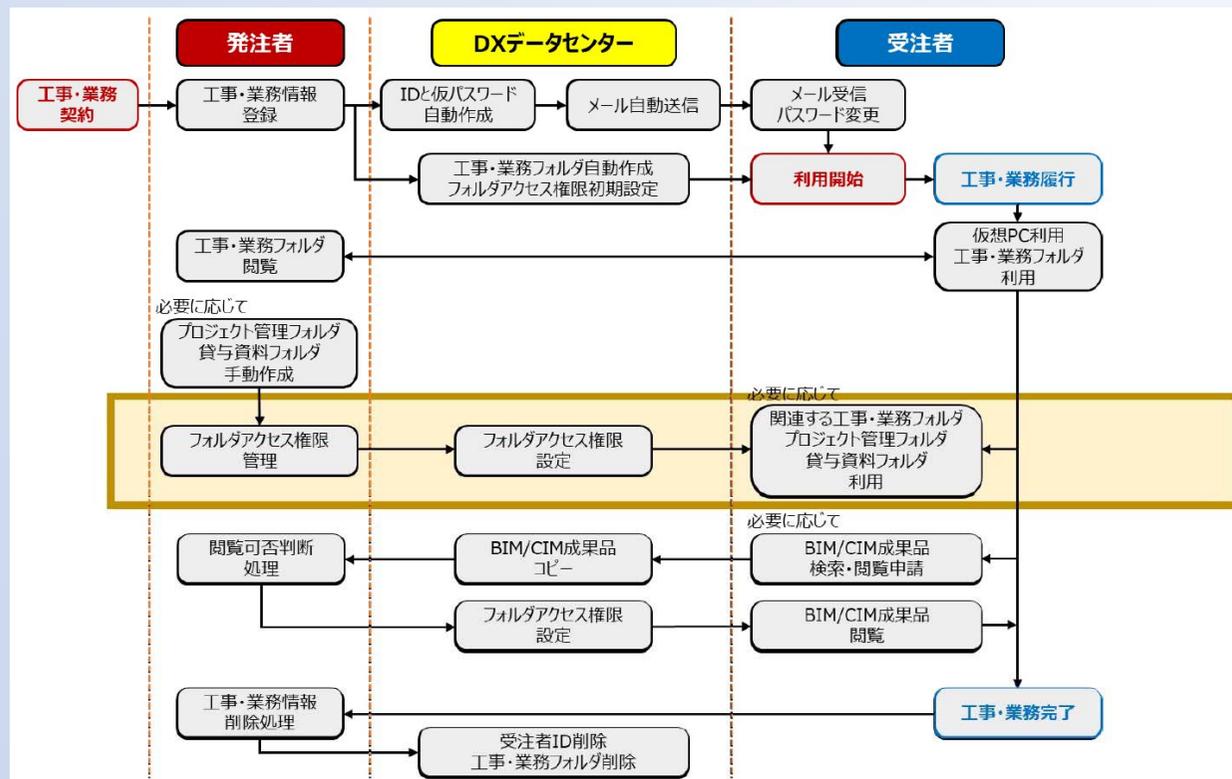
プロジェクト管理フォルダの命名ルール案：
プロジェクト名称の前に数字（101～199）を付ける

貸与資料フォルダの命名ルール案：
工事・業務フォルダの名称の後に「貸与資料」を付ける
※**その他の命名ルールは各事務所**で設定できます。

フォルダの管理を効率的に行うために、一定の命名ルールに沿ったフォルダ名称とすることを推奨します。また、¥、/、:、*、?、"、<、>、|、機種依存文字、特殊文字の入力はエラー原因となるため、お控えください。

STEP 5 フォルダのアクセス権管理と利用

- 必要に応じて、受注者が利用するフォルダのアクセス権を管理する。
- 契約した工事・業務のフォルダに加えて、**他工事・業務のフォルダの利用を別の受注者に許可**することも可能。



フォルダのアクセス権限の管理

- 工事・業務の契約後、「DXデータセンターポータルサイト」にログインし、「アクセス権管理」から受注者のアクセス権（読み取り／変更）を設定する。

DXデータセンターのポータルサイトへログイン

手元のPCでMicrosoft Edgeを起動し、ポータルサイトにアクセスします。

IDとパスワードを入力してログインし、「アクセス権管理」を選択します。
(※IDは数字とハイフンのみ (cadvdiは不要)、パスワードは受注者領域専用です)



メニュー
ユーザー情報変更
アクセス権管理
BIM/CIM検索
WEB会議(主催者)
WEB会議(参加者)
閲覧資料

DXデータセンター
ID
パスワード
ログイン

アクセス権の管理

受注者アクセス権管理システム

工事・業務情報管理 『工事・業務情報』の登録・編集を行います。 **フォルダアクセス管理を選択します。**

フォルダアクセス管理 受注者からの閲覧申請の承認、および、『Workspace』配下の『事務所内フォルダ』に対して公開設定等を行います。

ログインID 業務情報管理 閲覧権限メールアドレス 年度 工事業務名 工事業務種別 作成フォルダ名 工期 受注者名 受注者メールアドレス 受注者メールアドレス

業務情報管理	2721-01	高森 太郎	asomori_taro@mit.go.jp	2021	高森河川工事	工事		2021/12/01	高森 太郎	hji-taro@jps.fgfu.com	2021/12/20
--------	---------	-------	------------------------	------	--------	----	--	------------	-------	-----------------------	------------

アクセス権を設定する受注者を選択します。

ログインID 67219-01
氏名 高森 太郎
氏名メールアドレス asomori_taro@mit.go.jp

年度	2022
工事業務名	高森河川工事
工事業務種別	1100-
作成フォルダ名	
工期	2022-06/01
受注者名	高森 太郎
受注者メールアドレス	hji-taro@jps.fgfu.com
受注者メールアドレス	2022-06/04

アクセス権を設定する受注者の情報が表示されます。

事務所内フォルダを選択します。

【読み取り】 「閲覧」を許可する「フォルダ名」をチェックしてください。
【閲覧申請】 をチェックすると、受注者はフォルダ内のファイルの読み取りを行えるようになります。
【変更】 をチェックすると、受注者はフォルダ内のファイルの変更を行えるようになります。
チェックしていないフォルダは受注者には公開されません。
ただし、受注者が受注している工事・業務のフォルダは、常に「閲覧」を行えるため、一覧には表示されません。
他の関係者が受注している工事・業務のフォルダには「読み取り」の権限を付与しますが、「変更」の権限は付与されません。
必ず「閲覧権限を承認する」を最後に押してください。
赤字行は承認済みのフォルダとなります。

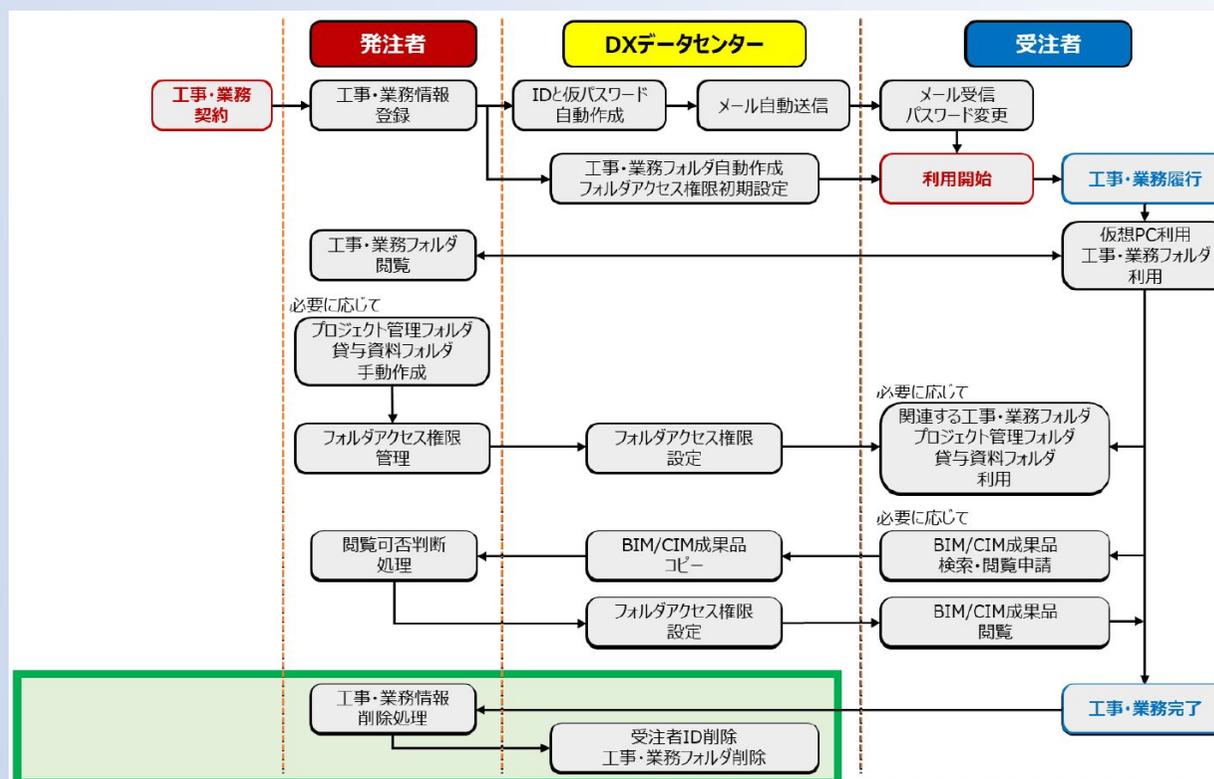
読み取り	変更	フォルダ名
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00利用開始フォルダ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01閲覧承認資料
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01共通データ受け渡し
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02DXプロジェクト
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02DX業務
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2219河川工事

修正しないことをお勧めします。

アクセス権を設定するフォルダが表示されます。

STEP 6 工事・業務情報の削除処理

- 工期終了後に、工事・業務情報を削除する。
- 受注者は、発注者の工事・業務情報の削除後、DXデータセンターの利用を終了する。



工事・業務情報の削除処理

- 工期終了後、「DXデータセンターポータルサイト」にログインし、「アクセス権管理」から工事・業務情報を削除する。
- 削除処理を行うと、受注者のID・パスワードと工事・業務フォルダが削除される。

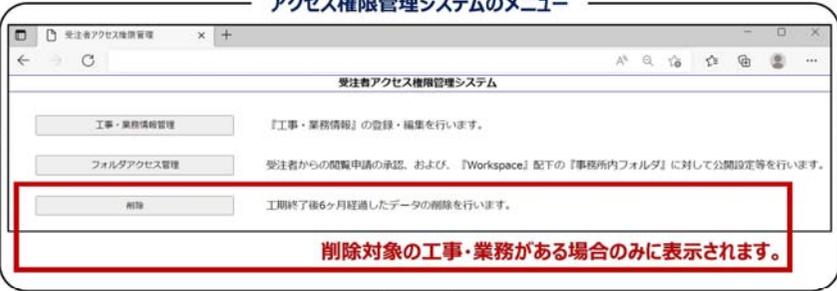
DXデータセンターのポータルサイトへログイン

手元のPCでMicrosoft Edgeを起動し、ポータルサイトにアクセスします。

IDとパスワードを入力してログインし、「アクセス権管理」を選択します。
(※IDは数字とハイフンのみ (cadvdiは不要)、パスワードは受注者領域専用です)



アクセス権管理システムのメニュー



削除画面



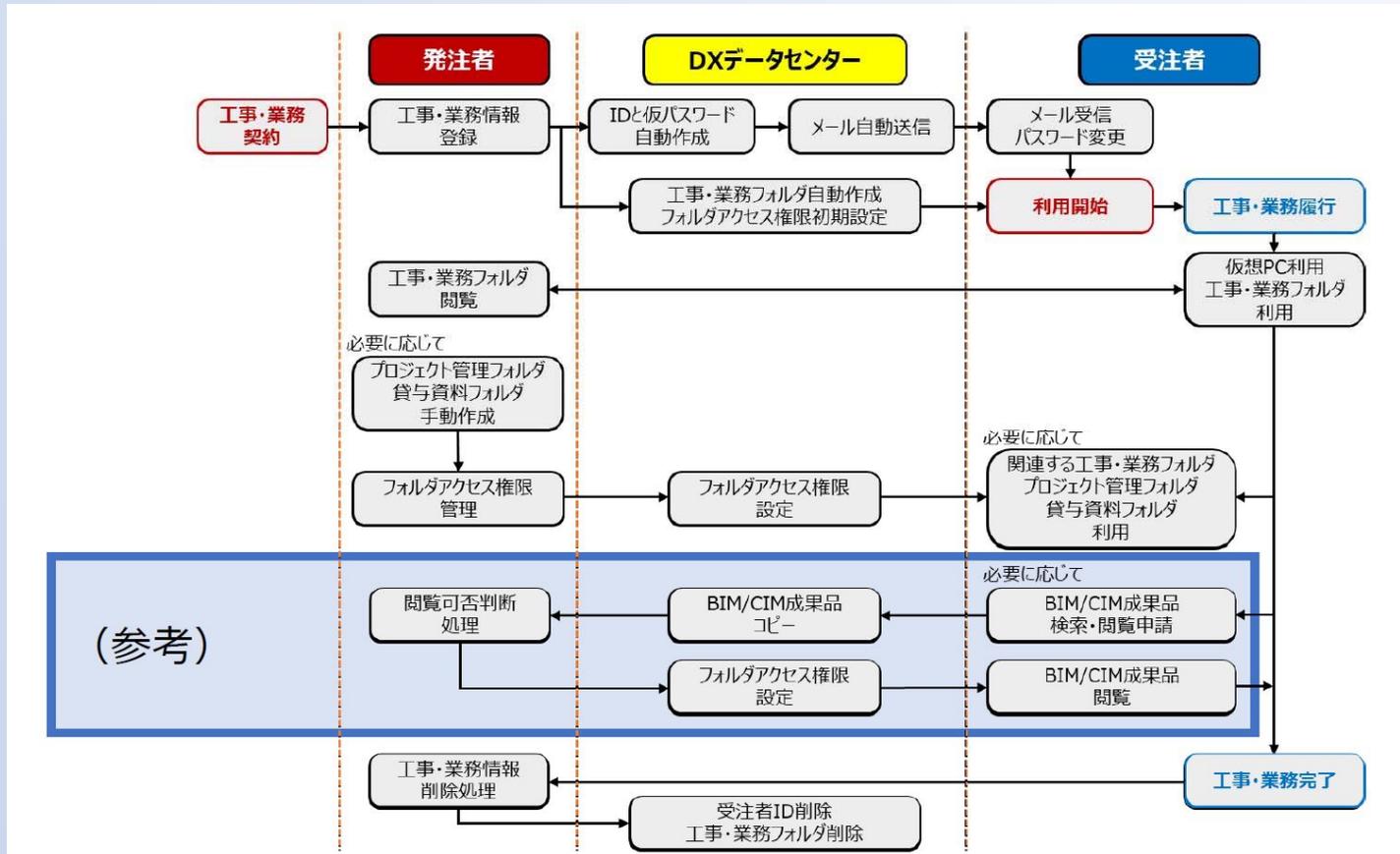
削除するデータをチェックしてください。

削除	ログインID	発注担当者名	発注担当者メールアドレス	年度	工事業務名	工事業務種別	作成フォルダ名	工期	受注者名
<input type="checkbox"/>	827210-01	青森 太郎	fuji-taro@jp.fujitsu.com	2022	青森河川工事	工事		2021/05/03	富士通

注意 工期終了後、工事・業務情報の削除処理をお願いします。
自動配信メールやリマインド機能がないため、発注者が自発的に削除する必要があります。
工期終了後6ヶ月経過よりも早期に削除する場合は、「工事・業務情報管理」で工期末を削除する日付よりも6ヶ月以上前に修正すると、削除できるようになります。

【参考】 BIM/CIM成果品の検索から閲覧まで

- 受注者からのBIM/CIM成果品の閲覧申請に対し、承認・非承認の判断を行う。



【参考】 閲覧申請の処理

- 閲覧申請を許可する場合は、「DXデータセンターポータルサイト」にログインし、「アクセス権管理」からBIM/CIM成果品の閲覧申請について許可処理を行う。

DXデータセンターのポータルサイトへログイン

手元のPCでMicrosoft Edgeを起動し、ポータルサイトにアクセスします。

IDとパスワードを入力してログインし、「アクセス権管理」を選択します。
(※IDは数字とハイフンのみ (cadvdi¥は不要) パスワードは受注者領域専用です)

DXデータセンター

メニュー

- ユーザー情報変更
- アクセス権管理**
- BIM/CIM検索
- WEB会議(主催者)
- WEB会議(参加者)
- 閲覧資料

! 事務所の工事・業務の担当者が発注案件の貸与資料として貸与できるBIM/CIM成果品の閲覧申請に対して承認処理を行います。

DXデータセンターのシステム側でBIM/CIM成果品の閲覧環境を整えるために、受注者からの閲覧申請の連絡の翌日以降に承認処理を行います。

アクセス権の管理

受注者アクセス権管理システム

工事・業務情報管理 『工事・業務情報』の登録・編集を行います。 **フォルダアクセス管理を選択します。**

フォルダアクセス管理 受注者からの閲覧申請の承認、および、『Workspace』配下の『事務所内フォルダ』に対して公開設定等を行います。

閲覧申請を送信した受注者を選択します。

ログインID	発注担当者名	発注担当者メールアドレス	年度	工事業務名	工事業務種別	作成フォルダ名	工期	受注者名	受注者メールアドレス	受注者メールアドレス
827210-01	青森 太郎	aomori_tarou@mit.jp	2021	青森河川工事	工事		2021/12/01	富士通	fuji-taro@jp.fujitsu.com	2021/12/20

アクセス権を設定する受注者の情報が表示されます。

受注者閲覧申請 承認済みのフォルダ 受注者閲覧申請を選択します。

閲覧を許可する『工事名/業務名』をチェックしてください。チェックしていない工事・業務のフォルダは受注者には公開されません。必ず『閲覧権限を承認する』を最後に押してください。赤字行は未承認(新規申請)のフォルダになります。

許可	工事/業務名	年度
<input type="checkbox"/>	新城地区維持補修工事	2019
<input type="checkbox"/>	津軽自動車道路側附属物供養修繕工事(単価契約)	2020
<input type="checkbox"/>	津軽地区道路照明施設維持工事	2020

処理を行うフォルダが表示されます。

これで、
DXデータセンター活用研修 の
eラーニングを終了します。
ご視聴ありがとうございました。

本eラーニングは、令和6年度時点の情報で作成しています。実際の実務にあたっては最新情報の確認をお願いします。